


## 第 17 回佐賀県食育賞受賞者の概要

| No            | 受賞者名   | 活 動 概 要   |
|---------------|--|---|
| ボランティア部門<br>① | <p>嬉野市食育推進会議</p>    | <p>○平成 20 年 4 月から活動開始。委員 15 名。学識経験者、教育・福祉・農業・保健関係者で構成されている。単なる会議として食育について提言するだけでなく、委員が自主的に幅広く連携して食育活動を推進している団体。専門分野の代表者同志の横のつながりができ、新しい活動にも発展している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年「子どもが作る弁当の日」を提案。<br/>当初は小学校 5～6 年生のみであったが、今では市内全部の小中学校で年 2 回実践。その活動を支援するための食育教室を毎年実施している。</li> <li>・令和 3 年「みそ玉」作りの普及<br/>幼稚園、保育園等でみそ作りからみそ玉（手作りインスタント味噌汁）作りを実践。みそ玉を園児達が自宅に持ち帰り、バランスの良い朝食摂取に寄与している。</li> </ul>   |
| 教育関係者部門<br>①  | <p>多久市立東原産舎中央校<br/>栄養教諭 川田 孝子</p> <p style="text-align: center; background-color: #ffff00; border: 1px solid black;">しろいし食の日</p>  | <p>○学校給食に 34 年間携わり、地場産品を使った給食やかむことを意識した「かむ献立給食」などを提供するとともに、児童・生徒に対し、食への興味・関心を高めるような食育指導を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しろいし食の日」「かむ献立給食」<br/>白石町で収穫される食材を取り入れた給食やかみごたえのある食材を使った給食をそれぞれ月 1 回提供している。<br/>また、「献立メッセージ」として校内放送も行っている。</li> <li>・47 都道府県及び世界の味を紹介する給食を提供<br/>食に関心を持ってもらえるように 47 都道府県の味とさらに「オリ・パラ給食」として、世界各国の味を紹介する給食を考案し月 1 回提供。生徒たちが食に興味・関心を持つ献立を工夫している。</li> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーに選出され、食の大切さや学校給食の PR を行った。</li> </ul> |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl;">教育関係者部門<br/>②</p> | <p>唐津市立鏡中学校<br/>教諭 岩井 帆乃香</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="background-color: yellow; padding: 2px 10px; display: inline-block;"><b>朝食レポート</b></div> </div>  | <p>○生徒に対して、健全な食習慣を確立するための食育活動と食品ロスを削減するための教育活動・取組を推進している。</p> <p>特に、「望ましい朝食への理解と習慣化」、「学校給食の残菜に対する課題意識とその改善」の2つのことについて重点的に取り組んでいる。</p> <p>また、一人一台端末やシンキングツールを用いて先進的な授業を行い、生徒が主体的に活動できるように工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい朝食への理解と習慣化       <ol style="list-style-type: none"> <li>①朝食に対する意識調査</li> <li>②学活「朝食の必要性について考え、工夫してとれるようになろう」の授業実施</li> <li>③夏休みの朝食セルフチェック</li> </ol> </li> <li>・学校給食の残菜に対する課題意識とその改善       <ol style="list-style-type: none"> <li>①家庭科「食品ロスの現状を知り、自分の食生活においてできることを見つけよう」の授業実践</li> <li>②保健部の残菜チェックの継続、呼びかけなどを行っている。</li> </ol> </li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl;">教育関係者部門<br/>③</p> | <p>学校法人旭学園<br/>佐賀女子短期大学付属<br/>ひしのみこども園</p>   | <p>○食育カリキュラム（0～5歳児）に基づき、食物の栽培や収穫体験、会食などの活動を教育・保育の場と位置づけ、また、自園給食を活用して食育を推進している。</p> <p>特に、野菜や果物の栽培、調理、食事までをワンサイクルとし、命の連続・大切さ、自然の営みの大きさなどを園児達に感じてほしいと願い、食育活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域の方だけでなく、佐賀農業高校の生徒とも連携して定期的に独自の食育活動を行っている。       <ol style="list-style-type: none"> <li>①カレー会</li> <li>②田植え体験（佐賀農業高校生と一緒に）</li> <li>③稲刈り体験（佐賀農業高校生と一緒に）</li> <li>④餅つき会</li> <li>⑤豚汁会</li> </ol> </li> <li>・これらの取組を園のブログ、HPで発信し、各家庭、地域に対し食育の大切さについて啓発を行っている。</li> </ul>  |